

# 部長に聞く「令和元年度の方針」

この特集では、今年度の市の取り組みを分かりやすくお伝えするために、行政の各分野を所管する部長から各部の基本方針や現状と課題、重点的な取り組みなどをご紹介いたします。



議会事務局長  
大坪 一久

## 市民のみなさんに寄り添った議会運営を進めます

市議会は、市民のみなさんの代表である市議会議員が、市長（執行機関）とは独立・対等な立場で互いに協力して自治体運営にあたる責任があり、市議会には、予算や条例をはじめ、市の重要な団意思の決定権が委ねられています。

また、地方分権改革により、市議会には議決機能とともに、調査機能として市民の視点に立った監視機能や政策立案機能の強化、市民のみなさんの多様な意見の施策への反映が求められています。

このため市議会では、広聴活動として「議員と語ろう会」を開催し、市民のみなさんの意見をお聞きし、行政への提案に結

びつける取り組みを行っています。また、議会報告会や各種団体との意見交換会等に加え、昨年度から議会モニター制度を導入し、より市民に寄り添った議会活動を目指しています。

議会事務局では、こうした議会活動をサポートするとともに、市議会の活動を市民のみなさんにお知らせするため、「議会だより」をはじめ、ケーブルテレビの活用や、ホームページ等の内容を充実させ、身近な議会となるような取り組みを進めてまいります。



市長公室長  
日置 美晴

## 新たな時代を迎え、新たなステージに！

市長公室では、市長・副市長の秘書業務をはじめ、広報誌や広報無線、ケーブルテレビ、インターネットなどを通じた市政

情報の発信やみなさんからのご意見・ご提案の聴取、自治体間交流や国際交流、重要政策の企画・調整及び推進、行政改革、公共交通、公共施設の適正配置、地方創生、地域振興、市民協働及び男女共同参画、情報基盤の整備や情報政策のほか、人事管理をはじめとする職員の管理育成など、様々な分野で市長のトップマネジメントを補佐しています。

さて、本年5月1日から元号が「令和」に改められました。この時代の節目に郡上市も「合併・市制施行15周年」を迎えるとともに、本年は、郡上市が過去に受けた多くの災害の年からも節目の年に当たることから、「防災・減災」を主テーマに巡回展示など記念事業を展開してまいります。市長公室では、この機会に、新市づくりの15年間の振り返るとともに、新たなステージでの市政発展を目指し、市政白書や記念冊子を作成します。また、継続中の「ケーブル

テレビ伝送路の光化整備」事業や「公共施設適正配置計画」の策定を進めるほか、「第2次総合計画後期基本計画」や「第3次男女共同参画プラン」の策定に着手してまいりますので、市民のみなさんのご理解、ご協力をお願いいたします。



市長公室付部長  
置田 優一

## 観光立市の推進で持続可能な郡上市を表現

平成29年度から政策推進の旗印として掲げている「観光立市郡上」の推進に、引き続き力を入れています。特に今年度は、郡上市観光連盟が主体となっており、郡上市全体で「観光地経営」を行う組織づくりや、郡上市に関心を持つ人、また、その可能性のある人に向けたより効果が高まる広告宣伝の仕組みづくりがスタートします。郡上に訪れ



る人とつながり続け、再訪を促していくための取り組みとして、観光客の動向把握や、得られたデータを分析、評価して次の戦略を描いていく手法についても、あわせて検討を始めています。地方創生については、「郡上市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が最終年度を迎えますので、第2期総合戦略の策定を進めます。また移住者を呼び込み、新しい仕事を創る「郡上カンパニー」や郡上市の魅力を都市部に届ける「郡上藩江戸蔵屋敷」などの重点プロジェクトも、今年度はより戦略的に事業を展開してまいります。併せて住民自治を進めるため、市民協働センターと連携した市民活動の活発化や「小さな拠点とネットワーク」の市民周知、地域協議会等地域づくり活動の支援、改修工事が完了する「旧越前屋」の活用、ふるさと寄附返礼品の地場産品拡大など、数多くの事業をこれまで以上に成果が上がるよう積極的に進めます。



総務部長  
乾 松 幸

### 「自分の命は自分が守る」 ために

総務部は、防災・防犯・交通安全・消費者相談など市民のみなさんの安心・安全な暮らしの基盤づくり、財政・税務・契約・財産管理などの財務全般、住民票や戸籍等に関する窓口対応のほか、斎場の運営、選挙の執行管理など幅広い行政分野を担当しています。

防災面では、今年度は特に、昨年の7月豪雨災害、台風21号による長期間の停電を踏まえ、災害に強い郡上市づくりを推進するために、市民のみなさんの危機意識や防災意識の向上、さらには自主防災会の機能強化、地域における避難行動要支援者に向けた支援体制の充実など、自助・共助の強化に取り組みます。また、避難所の環境改善を図るために、床マットや間仕切りセット、Wi・Fi機能などの整備をあわせて行います。なお、防犯については、市民が犯罪に巻き込まれることのないよう、啓発活動を充実し防

犯意識の高揚を図ります。財政については、限られた財源を効果的かつ効率的に活用し、健全な財政運営に取り組みます。

財産管理では、庁舎等の適正な維持管理に努めるとともに、市所有の財産の一層の有効活用を検討します。また入札においては、透明性、競争性、公正性等の向上に努めます。

税務においては、正確な課税客体の把握に努め、公平かつ適正な課税とともに、滞納者に対しては臨戸訪問により納税を促し徴収率の向上に努めます。

窓口業務では、より一層の市民サービスの向上に努めます。また、市民の人権尊重社会の実現に向け来年度にかけて「郡上市人権施策推進指針」の策定に取り組みます。



健康福祉部長  
和田 美江子

### 安心して暮らし続けられる 郡上を目指して

健康福祉部では、生まれた子どもへの健やかな成長と、市民のみなさんが「健康」で将来にわたって現役として仕事や地域活

動に積極的に関わってもらうこと、たとえ介護が必要な状態になっても、家族や地域の人たちの支えや福祉サービス等の利用によって、住み続けられるまちを目指した取り組みを進めています。

支え合う地域としては、昨年の災害等の体験をもとに防災意識の向上と、避難行動に支援が必要な高齢者や障がいのある人に対する支援方法や支援者を明確にする個別計画を策定していきます。

高齢化の進行に伴う認知症対策としては、地域支援推進員の増員や初期集中支援チームによる早期診断と対応、また、介護職員初任者研修費用の助成を拡大し、人材確保と離職防止に努めます。

子どもからお年寄りまで身近な仲間と取り組む「健康づくりプロジェクト事業」については、市内企業と協働し、市民への活動支援や企業自体の健康づくり活動等、新たな事業展開を進めます。

子育て支援としては、放課後児童クラブを新たに2カ所開設するなど、安心して子育てができる体制の充実を図ります。また、3歳から5歳の子どもたちにかかわる保育料無償化への対応や、第2期郡上市子ども・子



郡上偕楽園長  
松井 良春

### 一人ひとりに 寄り添ったケアを

郡上偕楽園は、特別養護老人ホーム(80床)と養護老人ホーム(50床)、ショートステイ(20床)を併設した高齢者施設です。園では、「愛と真心と誠意」を理念に掲げ、職員が一丸となって入所者一人ひとりに寄り添ったケアに努めています。また、園は、毎年延べ700人以上のボランティアや地域のみなさんによって支えられています。

今年度も、入所者の安全と安心を第一に、感染症予防や事故防止対策に一層取り組み、洪水や地震などの災害への備えにも万全を期したいと思います。

懸案となっている施設の移転については、「郡上市公共施設適正配置計画(策定中)」との整合性を図りながら、引き続き検討を進めていきます。また、地域に貢献できる施設

を目指して、園の専門職が地域の高齢者サロンなどに出向いて行う出前講座などの活動も行っています。

入所者に満足される質の高いサービスを提供するために、職員自らが日々研鑽に励み、高いモチベーションを維持しながら職務に邁進していきます。



農林水産部長  
五味川 康浩

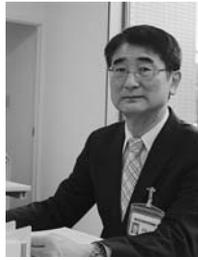
### 次世代につなぐ魅力ある 農林水産業の構築

農林水産部では、郡上市の自然・景観・風土を形成する基盤産業として、中山間地域の特性を生かした多様な取り組みにより、魅力ある農林水産業の実現を目指します。

農業では、地域全体で農地を守る活動や組織を支援するとともに、農地の集積・集約化の推進や就農希望者の指導育成、機械・施設整備への支援により意欲ある担い手を確保します。また、世界農業遺産認定地域として、「清流長良川あゆパーク」の活用や農産物・鮎のブランド化を進め、農業と内水面漁業の活性化につなげます。

森林・林業では、今年度から森林環境譲与税や新たな森林経営管理制度が始まります。森林の多面的機能の向上と災害に強い山づくりを進めるとともに、市産材の利用拡大や将来につながる人材育成・木育の推進、郡上森林マネジメント協議会と連携した森林整備の促進及び木材の生産・流通・消費構造の効率化を目指します。

畜産振興では、生産基盤の強化、担い手の確保に努め、安定的な畜産経営を推進します。また、県内で発生した豚コレラなど畜産農家以外にも影響を与えかねない家畜伝染病の発生防止や抑制対策を重点的に実施します。



商工観光部長  
遠藤 正史

**活力ある「ふるさと郡上」を指して**

「観光立市郡上」、産業振興に重点を置き、職員一丸となって次の取り組みを進めます。

「観光立市郡上」では、稼げる観光地づくりの推進と、観光地の地域経営を担うDMOの組織づくりやマーケティング体制

の構築を進めるとともに、施設整備では7月にリニューアルオープンするホテル積翠園、民間宿泊施設の改修支援を継続し市内の宿泊環境を充実させます。また、「高鷲<sup>たかす</sup>叫高原スポーツ広場」を人工芝生化し、スポーツ合宿誘致の環境を高めます。

産業振興では、「郡上市産業支援センター」によるワンストップ相談、関係団体との連携を深め各種支援事業の継続、人材確保・育成に向けた取り組みを移住・定住施策と絡め推進します。大島工業団地整備は、用地取得が完了し、次の段階である造成事業に着手し来年9月の完成を目指します。喫緊の課題である

人手不足や人材育成に対応するため、新たに企業向けの資格取得支援制度の創設や、外国人労働者等の活用を一層推進するための検討を行います。

また、地域の経済循環等を解明する産業連関表を作成し、本市の産業の特徴を把握し、地域の稼ぐ力を高めるため活用を図ってまいります。



建設部長  
尾藤 康春

**快適な市民生活を目指した基盤整備**

昨年は7月豪雨をはじめ、台風などにより市内の各所において災害が発生しました。社会基盤の被災箇所については、早期の復旧に向けて事業を進めていくところでありますが、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

広大な面積を有する本市において、道路ネットワークの充実には快適な市民生活、産業振興を支えるとともに、災害時におけるライフラインとして欠かせないものです。特に橋梁などは老朽化が進んでいるため、法定点検の結果に基づいた改良・補修により施設の長寿命化を図り、適正な維持管理を計画的に進めるとともに、農林・土木部門等の一層の事業促進に努めます。

主要幹線道路整備として、国道156号の改良事業など国・県道等にかかる新規事業化や、継続事業の促進など関係機関への要望活動を行なっています。また、八幡市街地での交通対

策計画について引き続き取り組むとともに、北町の重伝建地区の「無電柱化整備事業」等を継続して推進します。



環境水道部長  
馬場 好美

**快適な生活環境の持続を目指して**

人口減少社会の到来や施設の老朽化など、環境水道部の諸事業を取り巻く環境が極めて厳しいものとなっていく中、将来にわたり安定的に市民サービスを提供し続けることが私たちの使命です。この使命を実現するため、次の重点施策を進めます。

環境事業では、処理施設の適正な運転管理とともに、長寿命化のため計画的な修繕事業を実施します。

また、「清流長良川等保全条例」具現化のため、外来植物の除去活動を実施し、自然環境及び生物多様性の環境維持・保全に努めます。

上下水道事業では、施設の適正な運転・維持管理を行い、安全・安心な飲料水の供給や快適な生活環境の確保、公共用水域の水質保全に努めるとともに、

下水処理区の統廃合による事業のスリム化を実施し、経営の健全化、安定化を目指します。私たちは、安全で安心な生活環境を目指して、職員の共通認識のもと、一丸となって事業の確かな推進に努めます。



市民病院事務局長  
古田 年久

**安心して暮らせる医療の提供をめざして**

市民病院では、平成30年度に約4万7千人が入院治療を、約9万9千人が外来で治療を受けられました。また、年間600件を超える手術の実施や年間260件を超える分娩を受け入れるほか、二次救急病院として24時間365日の救急業務を行うなど、昼夜を問わず地域の中核的医療機関としての役割を担っています。

こうした役割を継続する中、中山間地域でも都市部と変わらないような医療環境の充実を図るため、昨年度から血管造影装置を導入し血管の状況検査や治療を開始していますが、その他の機器についても計画的な更新を行い医療機能を強化していき

ます。

さらに、サービスの質の向上や改善活動を推進するほか、引き続き、医師や看護師などの医療スタッフの人材不足解消や経営改善に積極的に取り組むとともに、市内の医療機関及び医療施設との連携を強めることにより、『令和』という新しい時代に入ってもみなさんが安心して暮らせる郡上市であるよう努力してまいります。



国保白鳥病院事務局長  
川尻 成丈

### いろいろな場を連携(つながり)の花で満たそう

県北西部地域医療センター国保白鳥病院の今年度の運営方針は、「院内外いろいろな場を連携(つながり)の花で満たそう」としました。

この方針のもと、①センター発足からこれまでの4年間で培ってきた連携(つながり)をさらに広げ、深く、強くできるよう、市内外医療機関と連携し、それぞれの役割を明確にすることにより、人口減少の中においても継続してより良い医療が提供できる体制づくりに取り組む

こと、②在宅医療をさらに進め、介護・福祉と連携し、「地域に住むすべての人がその人らしく健康で幸せに暮らせるお手伝いをします」という当院の理念を具現化し、地域包括ケアのさらなる推進を図ること、③センターの機能をより強固なものとし、へき地医療を支え、中長期にわたって継続できるような次のステップとなる新たな体制づくりに着手すること、を指します。

これらを実現するために、職員一丸となって日々努力を積み重ねていきたいと思えます。



会計管理者  
白田 義孝

### 会計事務の適切な執行に努めます

地方自治体の財務会計制度では、会計事務の適正な執行を確保するために内部牽制の仕組みが採用され、会計管理者は市長の支出命令に対して審査権が与えられており、会計事務の執行機関として独立性をもつ職です。

平成31年度当初予算では、一般会計と国民健康保険特別会計や下水道事業特別会計など20の

特別会計を合わせ、総額約419億円の支払いが予定されています。市民のみなさんから納めていただいた大切な税金であるという緊張感を持って、正確で迅速かつ効率的な会計事務の遂行に努めてまいります。

会計課は、行政運営を支える大切なお金をお預かりする部署として、予算の執行内容の審査や公金の確実な保管・運用などを行い、厳しい財政状況の中でもより質の高い市民サービスの提供と行政コストの縮減に貢献できるよう取り組んでまいります。



消防本部消防長  
桑原 正明

### 郡上の安全・安心を守ります

消防本部は、今年度から所管事務の明確化、及び事務効率の向上を目的に組織を一部改正し、「消防課」を「消防総務課」として総務業務に重点を置くとともに、「指令課」を「警防指令課」として警防業務を所管し、緊急事案の連携体制を強化します。

生活環境の変化に伴い、発生する災害も複雑・多様化してお

り、その対応として郡上北消防署の救助工作車を更新するなど、現場活動が迅速確実に実施できるように、消防職員知識・技術の強化に努めます。

救急救命士が行う業務は、高度な技術が必要とするため資器材等の整備を行い、救命率の向上を目指し、医療機関との受入れ連携体制の円滑化を図ります。

地域防災の要である消防団については、自動車免許をオートマチック車限定で取得している団員を対象に、マニュアル操作の積載車やポンプ車の運転に必要な免許証の限定解除の費用を助成し、非常時に出勤できる体制を整備します。

私たち消防職員は、市民のみならず安全・安心に暮らせるよう、今後も使命の達成に向け取り組んでいきます。



教育次長  
伊藤 良

### 「生きる力」の育成と魅力ある地域づくり

教育委員会では、本年度から、第3期郡上市教育振興基本計画に沿った施策(事業や取り組み)

を推進します。また、学校体制検討委員会の答申を受け、関係部局と連携して学校規模の適正化に向けた基本的な計画を作成します。

学校教育では、生命と人権の尊重を基盤として、児童生徒の夢を育み、「読解力」の強化、「郡上学」によるふるさと教育、本物や生き方に触れる体験等を通して、確かな学力と豊かな心を育てます。

社会教育では、公民館を中心とした行事や講座等を充実させ、生涯学び続けられ、人生を豊かにする活動を支援するとともに、各施設の有効活用を図り、郡上の素晴らしい文化や歴史などに親しむことのできる環境づくりを推進します。

スポーツ振興では、市民の健康や体力の保持増進のため、それぞれの段階に応じたスポーツへの参画を進めます。また、大会や合宿の受け入れ窓口となる「スポーツコミッション」を設立し、スポーツを通じて地域の活性化とブランド化を目指します。

市民のみなさん  
令和元年度もよろしく  
お願いいたします。